

情報学ビジネス実践講座

提供プログラム

2025

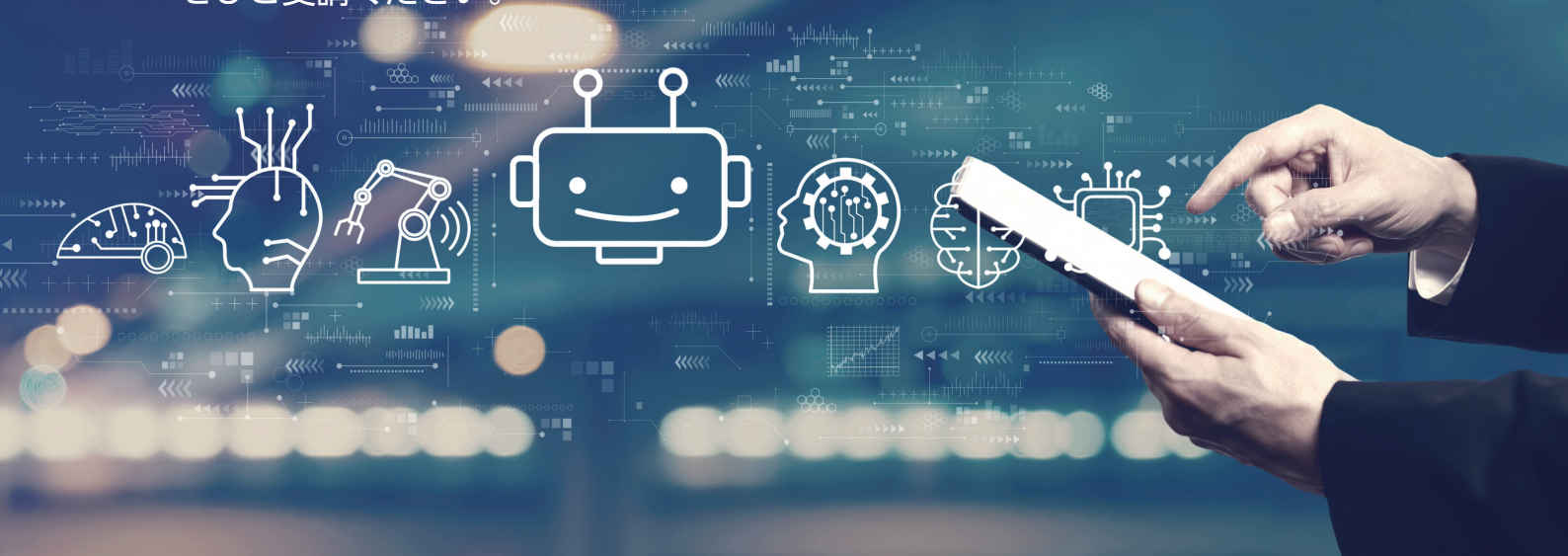
新しい社会を創る

IT、DX、AIと、これまで私たちの社会を大きく変えてきたデジタル・テクノロジーは、さらに加速して私たちの社会、企業、生活を変えていこうとしています。

これから生きる学生のみなさんは、デジタル・テクノロジーの単なる利用者、消費者ではなく、それを開発運用することを通じて、新しい社会を創っていく役割を果たすことが期待されています。

情報学ビジネス実践講座が提供する授業科目は、そのような実践的な学びにつながるよう、協力企業各社とともに開講します。

ぜひご受講ください。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University

実施協力：国際高等教育院 附属 データ科学イノベーション教育研究センター

ANA ANA SYSTEMS

NTT DATA

DMG MORI



東京海上日動



東京海上日動システムズ



日本総研
The Japan Research Institute, Limited

Orchestrating a brighter world

NEC

京都大学



京都大学



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University



協
連



経営管理大学院
若林 靖永 客員教授



経営管理大学院
西口 健二 客員教授



情報学研究科
山本 章博 教授



経営管理大学院
藤田 哲雄 特定教授



経営管理大学院
前川 佳一 客員教授



経営管理大学院
村野 剛太 客員准教授



経営管理大学院
斎木 大 客員准教授

京都大学と協力企業6社（ANA・ANAシステムズ、NTT東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ）を検討し、2018年に産学共同講座を設立しました。このへの応用の学んで頂くことで、大学の共通カリキュラムに求

求められる IT

従来のIT教育 (IT部門向け)

- ・アルゴリズム、データ構造などの理論が中心
- ・演習科目はプログラミングやデータ解析の基礎を提供

= 大学の共通カリキュラムに

協力企業

働携



協力企業

ANA・ANAシステムズ
 NTTデータグループ
 DMG森精機
 東京海上日動火災保険
 ・東京海上日動システムズ
 三井住友フィナンシャルグループ
 ・日本総合研究所
 日本電気



廣澤 健樹



岐部 琴美



津村 秀明

データグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・
 プ・日本総合研究所、日本電気)が実践的なIT教育の仕組
 講座では、従来のIT教育に加えて産業界が求めるビジネス
 められるITリテラシー教育を実現します

リテラシー教育

産業界が求める追加内容 (企画・事業部門向け)

- ・社会や産業界でITがどのように活用されているか
- ・業務要件に基づいてシステムを設計する流れ、プロジェクト管理、思考法等



ブルーメンシュテンゲル・健太郎

Orchestrating a brighter world



亀田 義男



石山 徹

求められるITリテラシー教育



東京海上日動



東京海上日動システムズ



佐藤 哲治



緒方 甫哉



日本総研
The Japan Research Institute, Limited



瀧崎 正弘

本講座提供・協力科目群

学部生向け

科目名	単位	担当企業	開講日
情報と社会	2	協力企業6社	前期・火曜5限
ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント	2	日本総合研究所 ANAシステムズ	前期・水曜5限

大学院生向け

科目名	単位	担当企業	開講日
デザイン思考実践	1	NTTデータグループ	9月4日(木)、5日(金)
ユーザー視点のITシステム設計実践	1	東京海上日動 東京海上日動システムズ	9月22日(月)、24日(水)
AI技術利活用実践	1	NTTデータグループ	9月25日(木)、26日(金)
ビジネスにおける情報学の実践	1	日本総合研究所 ANAシステムズ DMG森精機	8月28日(木)、29日(金)
人工知能特論	2	日本電気	11月8日(土)、14日(金)、 15日(土)、22日(土)
ビジネスデータ分析実践	1	日本電気	9月1日(月)、2日(火)

講座発行図書



ITと現代ビジネス

実践から学ぶ経営・実務・技術

瀧崎 正弘・若林 靖永 監修／藤田 哲雄 著

2023年8月 京都大学学術出版会

5ページ
情報と社会
テキスト

本書は、情報学ビジネス実践講座が開発提供してきた教育プログラムの成果を踏まえて、企業や組織等におけるITの開発・活用についての俯瞰的な理解と実践的な課題解決力の習得を目的として執筆されました。今日、ITと無関係な業種・職種は存在しないという状況のもとで、本書はどのような分野でどのような仕事をする人にとっても有効かつ有用な学びとなるでしょう。

学部生向け科目

科目名	実施日程	開講部局	主担当教員	協力企業
情報と社会	4～7月 火曜5限	国際高等教育院	藤田 特定教授 (経営管理大学院)	協力企業6社

P.4に記載の
テキストを使用

- ・ITが高度に発展、現代社会に深く浸透していることを理解する
- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）の本質を理解する
- ・各産業におけるIT活用の特徴を理解する
- ・企業経営においてITを適切に活用するための戦略や企画・開発のプロセス、ITガバナンスの進め方を理解する
- ・ITシステムの実現に必要な企画力を養うため、設計プロセスや取り巻く法的課題、セキュリティを理解する
- ・企業経営者の視点からIT経営の要諦を理解する

特色

【デジタル時代に即応】

わが国のデジタル競争力が年々低下しています（2024年は64カ国中31位）。要因の一つは人材の問題ですが、わが国で最も不足しているのは「ITを使って新しい仕事を作る人、新しい社会を設計する人」です。デジタル化が進む世界では、あらゆる分野においてリーダーの意思決定にはITへの理解が不可欠となります。本授業を通じて学ぶ「ITの鳥瞰図」は、文系や理系、産官学を問わずデジタル社会へのパスポートとなるはずですよ。

【実践的な学び】

世界的にデジタル化が急速に進展するなかで、未来社会を担い、創る人々である学生の皆さんに求められるのは、社会課題の解決や組織の経営にITをどのように活用するのか、という実践的な視点から学ぶことです。この授業では、ITの社会への浸透、DXのもたらす変革を俯瞰した上で、システムの開発等についての戦略やプロジェクトマネジメント、そしてガバナンスをどのように進めるのか等、従来の大学教育では提供されてこなかった「実践情報学」とも言うべき内容を体系的・俯瞰的に学ぶことができます。



京都大学
経営管理大学院
藤田 哲雄 特定教授

【豊富な最新事例】

この授業では、日本を代表する企業から招聘した講師の方々から、各業界でのIT活用の特徴と豊富な最新のDX事例を学ぶことが出来ます。授業中はもちろん授業後の質問にも可能な限り丁寧に回答していただけるので、極めて貴重な学習の機会となるほか、ITという角度から企業や業界を研究する機会ともなるでしょう。

情報と社会 講義予定

回	講義内容	担当講師
1	ITの発展と社会・企業への浸透	藤田 特定教授
2	デジタルトランスフォーメーション	藤田 特定教授
3	デザイン思考	NTTデータグループ
4	航空業とIT	ANAシステムズ
5	工作機械業とIT	DMG森精機
6	保険業とIT	東京海上日動
7	IT戦略	藤田 特定教授

回	講義内容	担当講師
8	IT企画	藤田 特定教授
9	ITシステムの開発とプロジェクトマネジメント	日本総合研究所
10	ITガバナンス	藤田 特定教授
11	情報セキュリティ	日本総合研究所
12	ITと法	日本総合研究所
13	ITの技術革新	日本電気
14	経営とIT	日本総合研究所

科目名	実施日程	開講部局	主担当教員	協力企業
ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント (本講座実施協力科目)	4～7月 水曜5限	国際高等教育院	藤田 特定教授 (経営管理大学院)	日本総合研究所 ANAシステムズ

- ・コンピュータの基本的な仕組みを理解し、ロジカルシンキングや計算論的思考について基本的な考え方を学び、演習を通じて体感することで思考法として活用できるレベルを目指す
- ・プロジェクトとは何かを理解し、そのマネジメントに欠かせない重要なポイントと難しさを事例とグループワークを通じて理解する

特色

頭の中でおおまかにイメージするだけでは、ITシステムは生まれません。システムは論理的な構成として設計されるべきものなので、その基礎はロジカルシンキングです。同時に、ITシステムを価値あるものにするには、複雑な技術、予測困難な事象、多様な利害関係者をマネジメントする力量が必須です。これらの実践的な思考と知識を学びましょう。



ANAシステムズ
廣澤 健樹



岐部 琴美



日本総合研究所 元副社長
井上 宗武

大学院生向け科目

ITで変えるビジネス

科目名	実施日程	開講部局	主担当教員	協力企業
ビジネスにおける情報学の実践	8月28日(木) 29日(金)	経営管理大学院 大学院横断教育科目	齋木 客員准教授 (経営管理大学院)	日本総合研究所 ANAシステムズ DMG森精機

- ・社会課題の解決や企業経営におけるITの意義をAI等の活用を含め学ぶ
- ・経営戦略におけるIT戦略を事例や演習を通じて修得しITガバナンスを理解する
- ・最先端のDXについて航空業・製造業・金融業の事例に触れアイデアソンで実践する

特色

ITをビジネスに活用するためには、ITの知識だけではなく、IT戦略、ITプロジェクトマネジメント、ITガバナンスなどが求められます。本授業ではこれらを体系的に学ぶとともに、金融、航空、製造といった各分野でのDXの展開事例を学び、これからのDX企画について考えてもらいます。



DMG森精機
ブルーメンシュテングル・健太郎



ANAシステムズ
廣澤 健樹



日本総合研究所
岐部 琴美



日本総合研究所
淵崎 正弘

AIを学び、活用する

科目名	実施日程	開講部局	主担当教員	協力企業
人工知能特論	11月8日(土)、 14日(金)、15日(土)、 22日(土)	情報学研究科 経営管理大学院 大学院横断教育科目	山本 教授 (情報学研究科)	日本電気

- ・人工知能を正しく理解し、その内部構造の技術を応用できるようになる

特色

人工知能にはさまざまな理論・技術やその応用があります。本授業では認識・分析・制御の各領域について体系的に人工知能を学びます。また、人工知能がどのように活用されているかを、日本電気での事例を交えて学びます。受講生のみなさんには、自分の専門領域、関心テーマにどう人工知能が適用できるかを考えてもらいます。



日本電気
亀田 義男

データ分析で経営を支える

科目名	実施日程	開講部局	主担当教員	協力企業
ビジネスデータ分析実践	9月1日(月) 2日(火)	経営管理大学院 大学院横断教育科目	藤田 特定教授 (経営管理大学院)	日本電気

- ・ビジネスにおけるデータ分析の意義を学ぶ
- ・統計ソフトRの基本操作を体験する
- ・データに適した課題を設定して実際に分析、発表を行う

特色

今日、ビジネスにおいてデータは武器、競争力の源泉となっています。本授業ではさまざまなデータ分析手法と統計ソフトRの基礎的操作を学びます。そして実際のビジネスデータをもとにデータ分析によって新しい知見を導き出し、課題解決に取り組みます。データ分析技術の基礎を学びたい方はもちろん、データ分析技術を現場で活用する方法に興味のある方に適したコースです。



NECビジネスインテリジェンス
石山 徹

デザイン思考で課題発見・ユーザー中心のアイデアを創出する

科目名	実施日程	開講部局	担当教員	協力企業
デザイン思考実践	9月4日(木) 5日(金)	経営管理大学院 大学院横断教育科目	藤田 特定教授 (経営管理大学院)	NTTデータグループ

- ・デザイン思考の基本知識について学び、実践する
- ・グループワークにより課題を発見し、詳細化を行う
- ・デザイン思考による解決方法の探索と検証を実践する
- ・グループワークにより多様な視点を加える「共創」を体験する

特色

今日、当事者が直面する問題状況をいかに解決するか、があらゆる領域で重視されています。そのための思考プロセス、問題解決プロセスがデザイン思考です。本授業で、実際の問題を取り上げ深く洞察し、デザイン思考で革新的な解決手段を生み出しましょう。



NTTデータグループ
津村 秀明

アジャイルでビジネスをつくる

科目名	実施日程	開講部局	担当教員	協力企業
ユーザー視点のITシステム設計実践*	9月22日(月) 24日(水)	経営管理大学院 大学院横断教育科目	村野 客員准教授 (経営管理大学院)	東京海上日動 東京海上日動システムズ

- ・ビジネスにおける問題点やニーズをユーザーが真に得たい成果をベースに考え、解決策(アプリケーション)を構想する
- ・ITによって具体的にどのように解決するのかを考え、アプリケーションに必要な機能を定義する(要件定義)
- ・要件定義が適切であったかどうかを試作アプリケーションによって確認する
- ・要件定義の良かった点、悪かった点をレビューし、学びを整理する

特色

役に立つITシステムを提供するためには、開発するものがどのような課題を解決するためのものであるか、そのシステムに求めるユーザーの真のニーズは何か、といった背景と目的を理解する力が必要です。本授業では、ユーザー側・システム開発者側の視点を体験しながら、業務要件定義の重要性や陥りがちな罨、押さえるべきポイントについて実践を通して学びます。ウォーターフォール型開発とアジャイル型開発それぞれのシステム設計のケーススタディを通して、開発手法ごとの考え方や進め方の違い、長短所・特徴を理解し、ユーザー視点のITシステム設計ができるようになります。授業は講義とグループワーク演習の組合せとなります。



東京海上日動システムズ
佐藤 哲治



東京海上日動
緒方 甫哉

※情報学研究科では「業務要件定義実践」

AIビジネスを創出する

科目名	実施日程	開講部局	担当教員	協力企業
AI技術利活用実践*	9月25日(木) 26日(金)	経営管理大学院 大学院横断教育科目	前川 客員教授 (経営管理大学院)	NTTデータグループ

- ・AIやVRなどのデジタル技術でできることを学び、ビジネスでの活用の仕方を理解する
- ・ワークショップにより、デジタル技術を活用したビジネスを実際に考えてみる
- ・企業におけるビジネス開発の方法を学ぶ
- ・ハンズオンを通して、実際にサービス/アプリのプロトタイプを作ってみる

特色

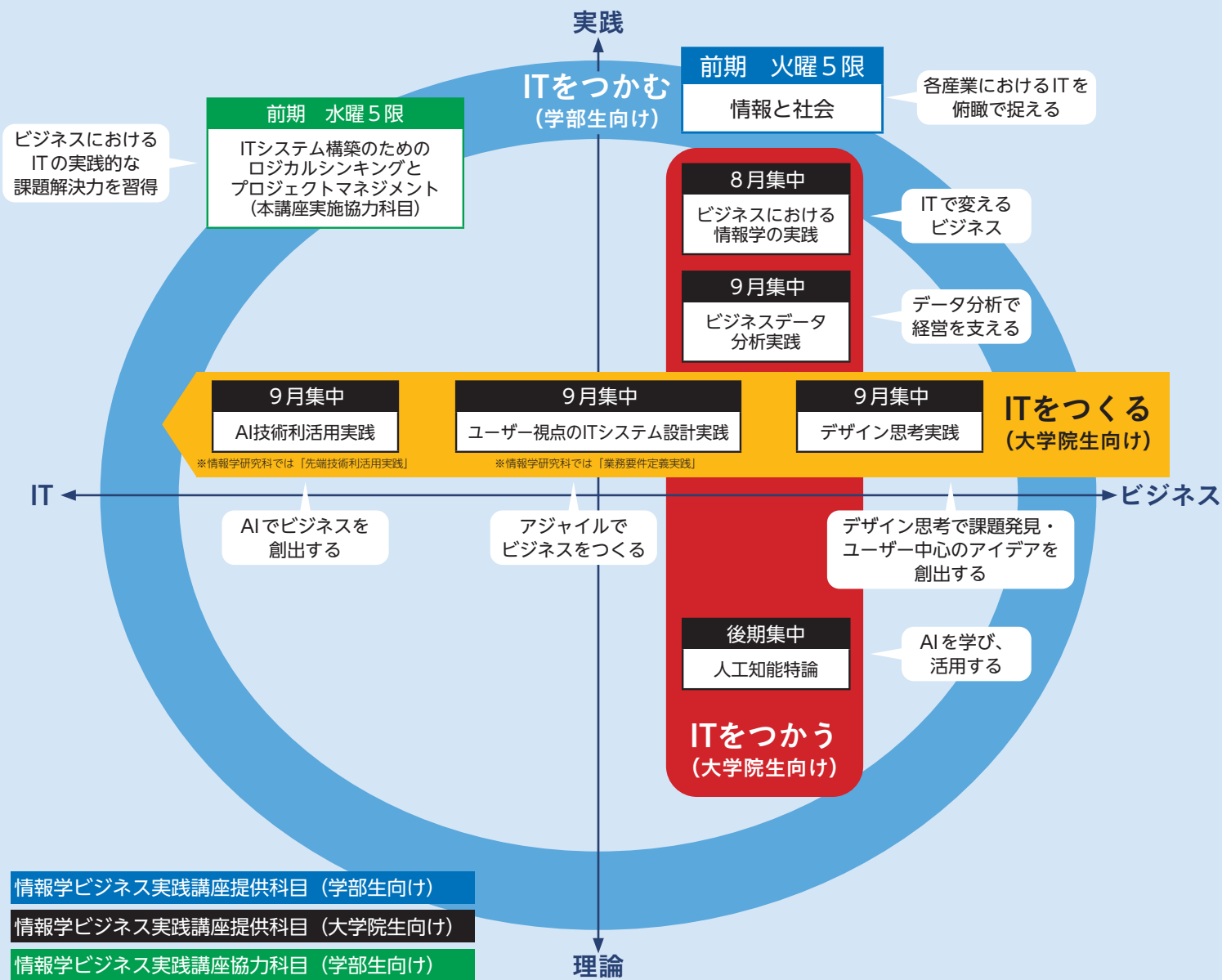
AIなどのデジタル技術はすでに研究開発だけではなく、さまざまな分野での応用が広がっています。本授業では、実際にそれらを活用して新たなビジネスを企画することや、サービス/アプリを開発することなどについて学び、取り組みます。



NTTデータグループ
津村 秀明

※情報学研究科では「先端技術利活用実践」

本講座 提供科目・協力科目



ITをつかむ (学部生向け)

多様な産業における「IT」の全体像を俯瞰で捉え、ITの知見を獲得し、ビジネスにおけるITの課題解決を習得

ITをつくる (大学院生向け)

企業の経営戦略の実現において不可欠な要素であるITについて、その構築過程 (システム開発) を上流から下流まで実践的に学習

ITをつかう (大学院生向け)

企業・社会の課題解決にIT技術がどのように活用されているのかを学び、産業界でイノベーションを主導する能力を習得

情報学ビジネス実践講座

京都大学と協力企業 (ANA・ANAシステムズ、NTTデータグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ・日本総合研究所、日本電気) が、デジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座

詳細／お問い合わせはコチラ

情報学ビジネス実践講座 事務局

✉ PIB@gsm.kyoto-u.ac.jp

🌐 <https://www.pib.gsm.kyoto-u.ac.jp>

